

原子力発電所の運転および廃止措置状況

原子力安全対策課
2022年8月1日現在

1. 稼働実績（設備容量 8 基 計 773.8 万 kW）

項 目 発電所名		営業運転 開始日	現 状	利用率・稼働率（％）		発電電力量（億 kWh）	
				2022 年度	運開後累計	2022 年度	運開後累計
日本原子力発電(株) 敦 賀 発 電 所	2 号機	1987. 2. 17	定期検査中 (2011. 8. 29～ 未定)	0. 0	53. 3	0. 0	1, 922. 9
				0. 0	53. 4		
関 西 電 力 (株) 美 浜 発 電 所	3 号機	1976. 12. 1	定期検査中 (2021. 10. 23～ 2022. 9 上旬予定)	0. 0	54. 5	0. 0	1, 803. 3
				0. 0	55. 0		
関 西 電 力 (株) 大 飯 発 電 所	3 号機	1991. 12. 18	運 転 中 (起動：2021. 7. 3 並列：2021. 7. 5 営業運転再開:2021. 7. 30)	102. 8	65. 9	35. 5	2, 087. 4
				100. 0	65. 6		
	4 号機	1993. 2. 2	定期検査中 (調整運転中) (2022. 3. 11～ 2022. 8 中旬予定)	10. 8	69. 7	3. 7	2, 126. 4
				11. 7	69. 2		
関 西 電 力 (株) 高 浜 発 電 所	1 号機	1974. 11. 14	定期検査中 (2011. 1. 10～ 2023. 6 上旬予定※)	0. 0	53. 2	0. 0	1, 838. 6
				0. 0	53. 6		
	2 号機	1975. 11. 14	定期検査中 (2011. 11. 25～ 2023. 7 中旬予定※)	0. 0	53. 8	0. 0	1, 819. 2
				0. 0	54. 2		
	3 号機	1985. 1. 17	定期検査中 (調整運転中) (2022. 3. 1～ 2022. 8 中旬予定)	3. 3	69. 8	0. 8	1, 998. 4
				4. 3	68. 8		
	4 号機	1985. 6. 5	定期検査中 (2022. 6. 8～ 2022. 11 中旬予定)	0. 0	70. 6	15. 1	1, 999. 6
				0. 0	69. 7		
合 計			24. 4	60. 8	55. 2	15, 596. 7	
			21. 5	60. 3			

※並列予定日

（注1）利用率・稼働率・電力量は2022年7月末現在、累計は営業運転開始以降。また、利用率・稼働率は四捨五入、電力量は切り捨て

（上段）設備利用率＝ $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$

（下段）時間稼働率＝ $\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$

2. 各発電所の状況（2022 年 8 月 1 日時点）

（1）運転中のプラント

発電所名	状況
大飯 3 号機	運転中（2021. 7. 30 ～ ） ・原子炉起動（2021. 7. 3 21:00）、並列（2021. 7. 5 16:59）、営業運転開始（2021. 7. 30 15:00） ・次回定期検査の予定（2022. 8 下旬） 特定重大事故等対処施設設置工事（2022. 12 完了予定）〔設置期限 2022. 8. 24〕
大飯 4 号機	第 18 回定期検査中（2022. 3. 11 ～ 2022. 8 中旬予定※） ※当初 2022. 8 上旬予定 ・発電停止（2022. 3. 11 9:55）、原子炉停止（2022. 3. 11 12:18） ・原子炉起動（2022. 7. 15 21:00）、臨界（2022. 7. 16 7:00）並列（2022. 7. 17 17:00） 特定重大事故等対処施設設置工事（2022. 8 完了予定）〔設置期限 2022. 8. 24〕
高浜 3 号機	第 25 回定期検査中（2022. 3. 1 ～ 2022. 8 中旬予定※） ※当初 2022. 6 中旬予定 ・発電停止（2022. 3. 1 11:00）、原子炉停止（2022. 3. 1 13:17） ・原子炉起動（2022. 7. 24 6:00）、臨界（2022. 7. 24 14:55）、並列（2022. 07. 26 17:00） ○タービン動補助給水ポンプの運転上の制限逸脱（制御油系統からの油の漏えい） ・定期検査中の 7 月 21 日 14 時 19 分に、「タービン動補助給水ポンプ制御油圧低」警報が発信したため、運転員が現場を確認した結果、床面に油（約 8 リットル）が漏れていることを確認した。 ・タービン動補助給水ポンプの制御油ポンプを停止ししたところ、油の漏れは停止した。この制御油ポンプの停止に伴い、タービン動補助給水ポンプが動作できない状態となったことから、関西電力は、同日 14 時 30 分に保安規定の運転上の制限を満足していない状態にあると判断した。 ・現場調査の結果、制御油ポンプの系統にあるオイルフィルタの蓋部から油が漏れていたため、同フィルタを分解したところ、蓋部に取り付けられていたパッキンが中心からずれて装着されていた。また、フィルタ容器側のシート面に点検手入れによるわずかな凹みが生じていた。 ・これらのことから、パッキンと容器側シート面の密着が不十分となり、油漏れが発生したと推定し、対策として、パッキンの取り替えおよびシート面の手入れを行った。その後、制御油ポンプの運転を行い、油漏れがないことを確認し、関西電力は、22 日 16 時 25 分に保安規定の運転上の制限の逸脱からの復帰を判断した。 （添付資料－1） （2022 年 7 月 22 日 公表済み）

(2) 停止中のプラント

発電所名	状況
敦賀 2 号機	第 18 回定期検査中 (2011. 8. 29 ～ 未定) ・ 発電停止 (2011. 5. 7 17:00)、原子炉停止 (2011. 5. 7 20:00) 安全性向上対策工事 (完了時期未定)
美浜 3 号機	第 26 回定期検査中 (2021. 10. 23 ～ 2022. 9 上旬予定※) ※当初 2022. 11 中旬予定 ・ 発電停止 (2021. 10. 23 11:00)、原子炉停止 (2021. 10. 23 12:56) 特定重大事故等対処施設設置工事 (2022. 7. 28 完了) [設置期限 2021. 10. 25] ○封水注入フィルタ室付近での水の漏えい ・ 8 月 1 日 10 時 57 分に「封水注入流量低」警報が発信したため、運転員が現場を確認した結果、11 時 20 分頃、巡視点検中の運転員が原子炉補助建屋内の封水注入フィルタ室付近の床面に約 10m×約 1 m×約 1 mm の水溜まりを発見した。 ・ その後、11 時 39 分に、使用していた系統である A－封水注入フィルタを B の系統に切り替え、現在、漏えいは停止している。 ・ また、漏えいした水は同フィルタ室内の目皿に流入し、原子炉補助建屋サンプに回収しており、建屋外部への漏えいはない。床面の水溜まり量や原子炉補助建屋サンプの水位上昇量から、漏えいした水の量は、約 7 m³ (放射エネルギーは約 2. 2×10⁶Bq) と推定した。 ・ 原因について、現在、調査を行っている。 (添付資料— 2)
高浜 1 号機	第 27 回定期検査中 (2011. 1. 10 ～ 2023. 6 上旬予定※) ※並列予定日 ・ 発電停止 (2011. 1. 10 10:03)、原子炉停止 (2011. 1. 10 12:20) 特定重大事故等対処施設設置工事 (2023. 5 完了予定) [設置期限 2021. 6. 9]
高浜 2 号機	第 27 回定期検査中 (2011. 11. 25 ～ 2023. 7 中旬予定※) ※並列予定日 ・ 発電停止 (2011. 11. 25 23:02)、原子炉停止 (2011. 11. 26 2:26) 特定重大事故等対処施設設置工事 (2023. 6 完了予定) [設置期限 2021. 6. 9]
高浜 4 号機	第 24 回定期検査中 (2022. 6. 8 ～ 2022. 11 中旬予定) ・ 発電停止 (2022. 6. 8 11:00)、原子炉停止 (2022. 6. 8 13:31) ○蒸気発生器伝熱管の損傷 ・ 定期検査中、3 台ある蒸気発生器 (SG) の伝熱管全数 (既施栓 415 本を除く 9, 743 本) について渦流探傷検査を実施したところ、12 本の伝熱管について、伝熱管を支持する管支持板部付近に外面 (2 次側) からの減肉とみられる有意な信号指示 (最大減肉率 49%) が認められた。 ・ 小型カメラにより、これらの伝熱管の外観観察等を実施した結果、伝熱管外面に幅約 1 mm 以下、周方向に約 2 mm から 7 mm のきずを確認した。 ・ これまでの調査の結果、SG 器内から回収したスケール (伝熱管表面に生成された鉄粒子の層が剥がれたもの) の中に、稠密層 (密度の高い層) が主体のスケールが確認されており、摩耗試験の結果、伝熱管の減肉量がスケールの摩滅量と同等となるものがあることを確認した。 ・ 高浜 4 号機では、前回の定期検査でも同様の事象が発生しており、対策として、SG 器内の薬品洗浄を行っているが、その後も稠密なスケールが SG 器内に残存していた可能性が高い。 ・ このため、引き続き、SG 器内からスケールを回収し分析等を行うとともに、SG 器内に残存するスケール等を可能な限り除去するための対策を検討する予定である。 (2022 年 7 月 8 日、7 月 22 日 公表済み)

(3) 廃止措置中のプラント

発電所名	状況
ふ げ ん	廃止措置中 (2008. 2. 12 ～) ・ 原子炉建屋内機器等の解体撤去作業中 (2019. 7. 1 ～)
も ん じ ゅ	廃止措置中 (2018. 3. 28 ～) ・ 炉外燃料貯蔵槽から燃料池への移送作業 (2022. 6. 24 ～) 燃料出入機点検等 (2022. 6. 24 ～) 第2回定期事業者検査中 (2021. 9. 14 ～ 2022. 8 下旬予定)
敦賀1号機	廃止措置中 (2017. 4. 19 ～)
美浜1号機 美浜2号機	廃止措置中 (2017. 4. 19 ～) ・ 2次系設備の解体撤去作業中 (1号 2018. 4. 2 ～ 、 2号 2018. 3. 12 ～)
大飯1号機 大飯2号機	廃止措置中 (2019. 12. 11 ～) ・ 2次系設備の解体撤去作業中 (2020. 4. 1 ～) ・ 残存放射能調査作業中 (2号 2022. 7. 15 ～) 第2回定期事業者検査中 (2022. 7. 6 ～ 2022. 12 上旬予定)

3. 原子力規制委員会への申請状況（2022年8月1日時点）

（1）新規規制基準適合性に係る申請を実施中のプラント

発電所名	申請	申請日	補正書提出日	許認可日
敦賀2号機※	原子炉設置変更許可	2015. 11. 5	-	-
	工事計画認可	-	-	-
	保安規定変更認可	2015. 11. 5	-	-

※ 2020年2月 原子力規制庁が敷地内破砕帯に係る審査資料のボーリングコア柱状図データの書き換えについて指摘
 2020年10月 原子力規制庁は、書き換えの原因分析については原子力規制検査で確認することとし、審査を継続する方針を決定
 2021年8月 原子力規制委員会は、原子力規制検査の経過報告を受けて、審査資料の品質を確保する業務プロセスの構築が確認されるまで審査会合を実施しないことを決定

特定重大事故等対処施設の設置※に係る申請

発電所名	申請	申請日	補正書提出日	許認可日	設置期限日
高浜1、2号機	保安規定変更認可	2022. 5. 23	-	-	2021. 6. 9

※ 原子炉建屋への故意による大型航空機の衝突やその他のテロリズム等により、原子炉を冷却する機能が喪失し、炉心が著しく損傷した場合に備えて、格納容器の破損を防止するための機能を有する施設
 本体施設の工事計画認可から5年間の経過措置期間（法定猶予期間）までに設置することが要求されている。

4. 燃料輸送実績（2022年7月2日～8月1日）

<新燃料輸送>

なし

<使用済燃料輸送>

なし

5. 低レベル放射性廃棄物輸送実績（2022年7月2日～8月1日）

なし

1. 記者発表実績（2022 年 7 月 2 日～8 月 1 日）

年月日	番号	概 要
2022. 7. 5	9	大飯発電所 1、2 号機の第 2 回定期事業者検査開始について
2022. 7. 8	10	高浜発電所 4 号機の定期検査状況について（蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査結果）
2022. 7. 13	11	大飯発電所 4 号機の原子炉起動と調整運転の開始について（第 18 回定期検査）
2022. 7. 22	12	第 218 回福井県原子力環境安全管理協議会の開催について
2022. 7. 22	13	高浜発電所 4 号機の定期検査状況について（蒸気発生器伝熱管の損傷の関する調査状況）
2022. 7. 22	14	高浜発電所 3 号機の原子炉起動と調整運転の開始について（第 25 回定期検査）

2. 主な出来事（2022 年 7 月 2 日～8 月 1 日）

年月日	概 要
2022. 7. 8	関西電力の森社長から就任の挨拶があり、知事は、原子力発電は安全が最優先であり、安全性の追求に終わりはないという考え方で、引き続き緊張感を持って取り組むよう求めた。
2022. 7. 26	福井県原子力環境安全管理協議会（第 218 回：敦賀市）

新規制基準適合審査等に係る許認可の実績

1. 新規制基準適合性に係る申請

発電所		申請	申請日	補正書提出日	許認可日
美浜	3号機	原子炉設置変更許可	2015. 3. 17	2016. 5. 31, 2016. 6. 23	2016. 10. 5
		工事計画認可	2015. 11. 26	2016. 2. 29, 2016. 5. 31, 2016. 8. 26, 2016. 10. 7	2016. 10. 26
		保安規定変更認可	2015. 3. 17	2019. 7. 31	2020. 2. 27
大飯	3、4号機	原子炉設置変更許可	2013. 7. 8	2016. 5. 18, 2016. 11. 18, 2017. 2. 3, 2017. 4. 24	2017. 5. 24
		工事計画認可	2013. 7. 8 2013. 8. 5 ^{※1}	2016. 12. 1, 2017. 4. 26, 2017. 6. 26, 2017. 7. 18, 2017. 8. 15	2017. 8. 25
		保安規定変更認可	2013. 7. 8	2016. 12. 1, 2017. 8. 25	2017. 9. 1
高浜	1、2号機	原子炉設置変更許可	2015. 3. 17	2016. 1. 22, 2016. 2. 10, 2016. 4. 12	2016. 4. 20
		工事計画認可	2015. 7. 3	2015. 11. 16, 2016. 1. 22, 2016. 2. 29, 2016. 4. 27, 2016. 5. 27	2016. 6. 10
		保安規定変更認可	2019. 7. 31	－	2021. 2. 15
	3、4号機	原子炉設置変更許可	2013. 7. 8	2014. 10. 31, 2014. 12. 1, 2015. 1. 28	2015. 2. 12
		工事計画認可	2013. 7. 8 2013. 8. 5 ^{※2}	2015. 2. 2, 2015. 4. 15, 2015. 7. 16, 2015. 7. 28	2015. 8. 4
			2013. 7. 8 2013. 8. 5 ^{※2}	2015. 2. 2, 2015. 4. 15, 2015. 9. 29	2015. 10. 9
		保安規定変更認可	2013. 7. 8	2015. 6. 19, 2015. 9. 29	2015. 10. 9
	1～4号機	原子炉設置変更許可 ^{※3}	2019. 9. 26	2020. 8. 20	2020. 12. 2
		工事計画認可 ^{※3}	2020. 10. 16	－	2021. 2. 8

※1 2016. 12. 1の補正書に2013. 8. 5の申請内容を含めたため、2013. 8. 5の申請を取り下げた。

※2 2015. 2. 2の補正書に2013. 8. 5の申請内容を含めたため、2013. 8. 5の申請を取り下げた。

※3 津波警報が発表されない可能性のある津波への対応に係るもの

特定重大事故等対処施設の設置^{※1}に係る申請

発電所		申請	申請日	補正書提出日	許認可日	設置期限日
美浜	3号機	原子炉設置変更許可	2018. 4. 20	2020. 4. 1, 2020. 5. 22	2020. 7. 8	2021. 10. 25
		工事計画認可	2020. 7. 10	2021. 3. 24, 2021. 3. 31	2021. 4. 6	
		保安規定変更認可	2021. 9. 17	2022. 2. 24, 2022. 3. 24	2022. 3. 25	
大飯	3、4号機	原子炉設置変更許可	2019. 3. 8	2019. 12. 26, 2020. 2. 5	2020. 2. 26	2022. 8. 24
		工事計画認可 ^{※2}	2020. 3. 6	2020. 4. 14, 2020. 12. 14	2020. 12. 22	
			2020. 8. 26	2021. 4. 30, 2021. 8. 13	2021. 8. 24	
高浜	1、2号機	原子炉設置変更許可	2016. 12. 22	2017. 4. 26, 2017. 12. 15	2018. 3. 7	2021. 6. 9
		工事計画認可 ^{※2}	2018. 3. 8	2018. 10. 5, 2019. 2. 19, 2019. 3. 20, 2019. 4. 9, 2019. 4. 19	2019. 4. 25	
			2018. 11. 16	2019. 5. 31, 2019. 8. 2, 2019. 8. 21	2019. 9. 13	
			2019. 3. 15	2019. 8. 2, 2019. 9. 27	2019. 10. 24	
	3、4号機	原子炉設置変更許可	2014. 12. 25	2016. 6. 3, 2016. 7. 12	2016. 9. 21	3号運用開始 2020. 12. 11 4号運用開始 2021. 3. 25
		工事計画認可	2017. 4. 26	2018. 12. 21, 2019. 4. 26, 2019. 7. 17, 2019. 7. 30	2019. 8. 7	
		保安規定変更認可	2020. 4. 17	2020. 9. 8, 2020. 9. 17, 2020. 9. 28	2020. 10. 7	

※1 原子炉建屋への故意による大型航空機の衝突やその他のテロリズム等により、原子炉を冷却する機能が喪失し、炉心が著しく損傷した場合に備えて、格納容器の破損を防止するための機能を有する施設

本体施設の工事計画認可から5年間の経過措置期間（法定猶予期間）までに設置することが要求されている。

※2 複数回に分割して申請

2. 運転期間の延長に係る申請

発電所		申請	申請日	補正書提出日	認可日
美浜	3号機	運転期間延長認可（運転期間 60 年） [※]	2015. 11. 26	2016. 3. 10, 2016. 5. 31, 2016. 8. 26, 2016. 10. 28	2016. 11. 16
		保安規定変更認可（高経年化技術評価など）			
高浜	1、2号機	運転期間延長認可（運転期間 60 年） [※]	2015. 4. 30	2015. 7. 3, 2015. 11. 16, 2016. 2. 29, 2016. 4. 27, 2016. 6. 13	2016. 6. 20
		保安規定変更認可（高経年化技術評価など）			

※ 原子炉等規制法において、運転期間は40年とされているが、その満了に際し、原子力規制委員会の認可を受けることで、1回に限り20年を上限として延長が可能とされている。

令和4年度安全協定に基づく軽微な異常事象**高浜発電所3号機 タービン動補助給水ポンプの運転上の制限の逸脱**

- ・発生日：令和4年7月21日
- ・放射能による周辺環境への影響：なし
- ・国の取扱い：報告対象外
- ・安全協定上の取扱い：異常事象（第7条第5号「発電所に故障が発生したとき」）

1. 発生状況

高浜3号機において、7月21日14時19分頃、中央制御室で「タービン動補助給水ポンプ^{※1}制御油圧力低」警報^{※2}が発信した。運転員が直ちに現場の状況を確認したところ、床面に油（約2m×約4m×約1mm：約8リットル）が漏れていることを確認したため、制御油ポンプを停止したところ、油の漏れは停止した。

制御油ポンプの停止に伴い、タービン動補助給水ポンプが動作できない状態となったことから、同日14時30分に保安規定に定める運転上の制限^{※3}を満足していない状態にあると判断した。

その後、パッキンの取替えおよびシート面の手入れを実施し、制御油ポンプの確認運転を行った結果、油漏れがないことを確認したことから、7月22日16時25分に運転上の制限を満足する状態に復帰した。

なお、本事象による環境への放射能の影響はなかった。

※1 タービン動補助給水ポンプは、主給水系統事故時など、通常の給水系統の機能が失われた場合に、蒸気発生器に給水を行うためのポンプで、蒸気発生器で発生した主蒸気の一部でタービンを回し、その回転力で駆動するポンプである。そのほか高浜発電所4号機には、補助給水ポンプとして、電動補助給水ポンプが2台ある。

※2 「タービン動補助給水ポンプ制御油圧力低」警報：油圧が177kPa以下となった場合に発信する。（平常値は約200～380kPa）

※3 1次冷却材温度が177℃以上の場合、補助給水ポンプ3台が動作可能であることが求められている。

2. 調査結果

油の漏れは、制御油ポンプの系統にあるオイルフィルタの蓋部からであり、分解点検の結果、蓋部のシート面のパッキンが中心からずれて装着されていたこと、およびフィルタ容器側のシート面の点検手入れによってわずかな凹みが生じていることが確認された。

3. 原因

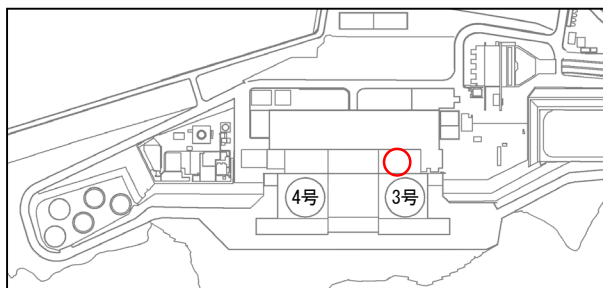
蓋部のシート面のパッキンが中心からずれて装着されていたこと、およびフィルタ容器側のシート面の点検手入れによってわずかな凹みが生じていることにより、パッキンと容器側シート面の密着が不十分となり、油漏れが発生したと推定した。

4. 対策

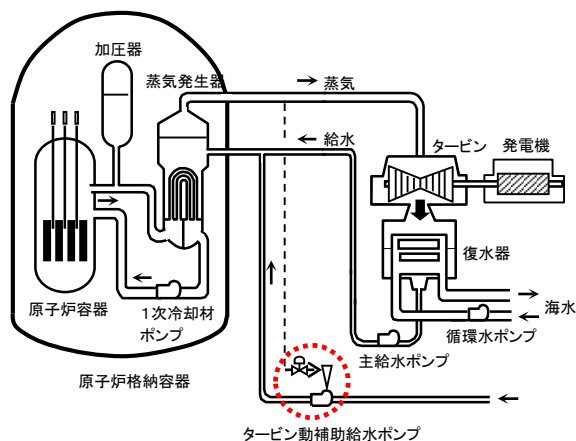
当該パッキンの取替えおよびシート面の手入れを実施し、制御油ポンプの確認運転を行い、油漏れがないことを確認した。

高浜発電所 3号機 タービン動補助給水ポンプの運転上の制限の逸脱 (制御油系統からの油の漏えい)

現場状況図



○ 発生場所: 3号機中間建屋(非管理区域)
タービン動補助給水ポンプ室

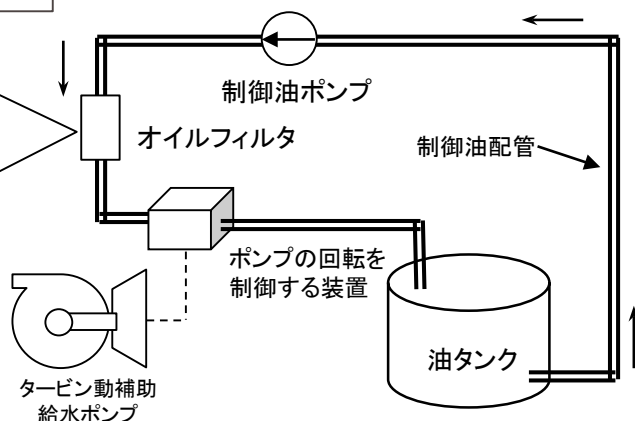
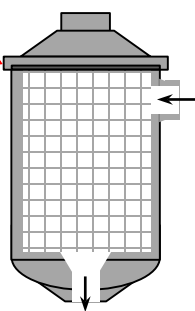


タービン動補助給水ポンプ制御油系統概略図

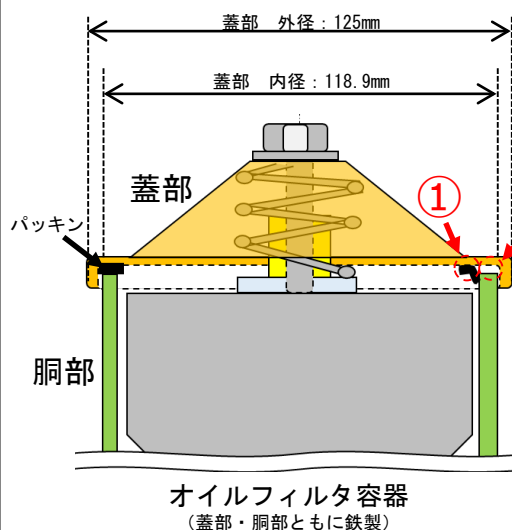
【オイルフィルタイメージ図】

オイルフィルタ蓋部
から油が漏えい

油漏えい量: 約8リットル
(約2m×約4m×約1mm)



分解点検による確認結果

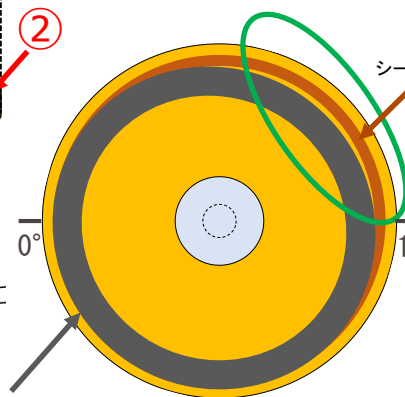


①フィルタ蓋部シート面のパッキンが
中心からずれて装着されていた

②フィルタ容器側のシート面に
わずかな凹みが生じていた

新しく取替えて、
正しくパッキンを装着

シート面の手入れを実施



わずかな凹みが
生じていた箇所

オイルフィルタ容器
(蓋部・胴部ともに鉄製)

装着されていたパッキン
(外径: 117mm、厚さ: 1.5mm、材質: ニトリルゴム)

原因

蓋部のシート面のパッキンが中心からずれて装着されていたこと、およびフィルタ容器側のシート面の点検手入れによってわずかな凹みが生じていることにより、パッキンと容器側シート面の密着が不十分となり、油漏れが発生したと推定した。

対策

当該パッキンの取替えおよびシート面の手入れを実施し、制御油ポンプの確認運転を行い、油漏れがないことを確認した。

令和4年度安全協定に基づく軽微な異常事象

美浜発電所3号機 封水注入フィルタ室付近での水の漏えい

- ・発生日：令和4年8月1日
- ・放射能による周辺環境への影響：なし
- ・国の取扱い：報告対象外
- ・安全協定上の取扱い：異常事象（第7条第5号「発電所に故障が発生したとき」）

1. 発生状況

定期検査中の美浜3号機において、8月1日10時57分に「封水注入流量低」警報が発信したため、運転員が現場を確認した結果、11時20分頃、巡視点検中の運転員が原子炉補助建屋内の封水注入フィルタ※室付近の床面に約10m×約1m×約1mmの水溜まりを発見した。

その後、11時39分に、使用していた系統であるAー封水注入フィルタをBの系統に切り替え、現在、漏えいは停止している。

また、漏えいした水は同フィルタ室内の目皿に流入し、原子炉補助建屋サンプ※²に回収しており、建屋外部への漏えいはない。床面の水溜まり量や原子炉補助建屋サンプの水位上昇量から、漏えいした水の量は、約7m³（放射エネルギーは約2.2×10⁶Bq）と推定した。

原因について、現在、調査を行っている。

本事象による環境への放射能の影響はなかった。

※1 1次冷却材ポンプ内の水が主軸に沿って外部に流出しないように封水を注入しているが、その水を浄化するもの。

※2 原子炉補助建屋内の系統内外で生じた漏えい水などを集めるために原子炉補助建屋の最下部に設置しているタンク。

原子炉器格納容器

加圧器

蒸気発生器

原子炉容器

1次冷却材ポンプ

タービン

発電機

復水器

放水口へ

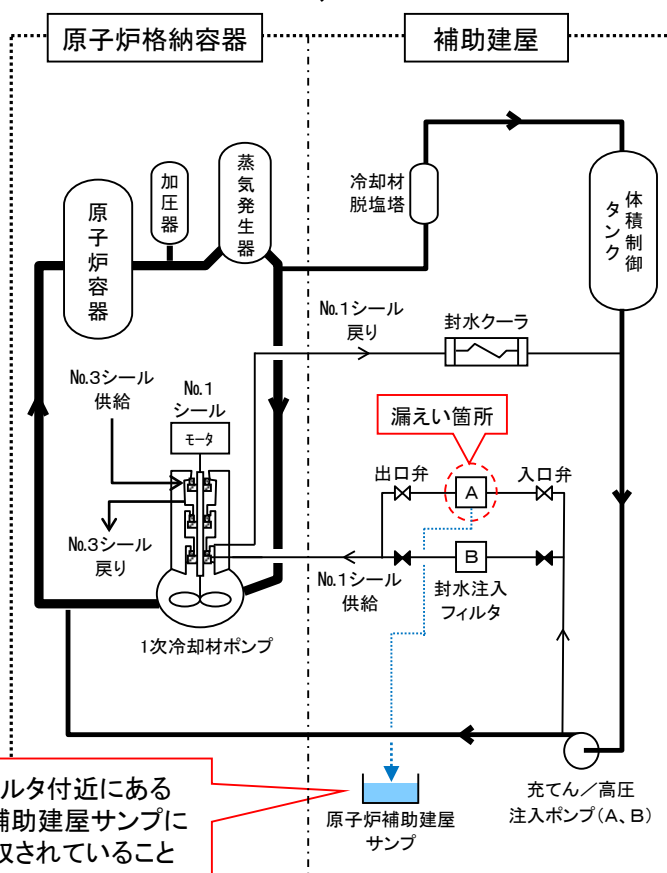
取水口より

循環水ポンプ

主給水ポンプ

い箇所 (フィルタ周辺)

漏えい箇所
(A-封水注入フィルタ周辺)



Aー封水注入フィルタ付近にある目皿より原子炉補助建屋サンプに約7m³の水が回収されていることを確認